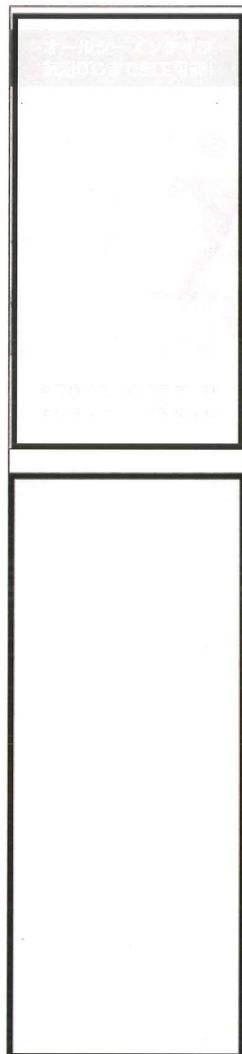


「建材フォーラム」2024.5月号（株式会社工文社）に掲載されました。



ウォーターロックラボ  
**建築物のインフラ設備を  
 浸水から守る新製品を発表**



▲止水システム水神様

ウォーターロックラボ(野村喜久男社長)は4月17日、同社会議室において水害浸水対策の止水システム「水神様」の製品記者発表会を開催した。

近年、大型台風や爆弾低気圧、集中豪雨などにより浸水や冠水の被害が頻発している。特に都市部では電気や水道、通信、交通インフラなど重要設備が地下空間やオフィスビルなどに集中しており、内水氾濫による浸水被害を防ぎ、経済的損失を最小限に抑えることが急務となっている。また、都市型水害では社会活動や日常生活に甚大な影響を与え、その経済的損失は計り知れない。

記者会見の冒頭、挨拶に立った野村社長は「昨今の異常気象により、ゲリラ豪雨や線状降水帯の発生、台風の大規模化などが懸念されている。こうした自然災害から大切な建築インフラ設備を水害から守るため当社は2023年6月に設立し、止水システム水神様を開発した。同製品は多方面で水害から守りたい部屋の扉に設置し、浸水から守るため扉全面を覆うシステムになっている。これにより従来の止水板や止水シートでは対応できない高さまで止水できるため、ハザードマップで浸水被害予測がなされている地下や半地下などにインフラ施設のある建物に設置して頂きたいと考えている」と語った。

次いで同社マネージャーの伊藤義人氏より製品説明がなされた。

同製品は、地下空間やオフィスビル、商業施設、マンションなど水害浸水対策が急務とされる電源設備や給水ポンプといった重要インフラ設備の開口部の周りを止水シートで覆い、固定することで高い止水性を発揮し、短時間で水の侵入経路を防ぐというもの。既存設備扉などに設置できるため大規模な工事が不要で工事費用を抑えることができる。また、扉上部に設置した防塵カバーより防水シートを引き出し、シート押えと専用ベルトで固定するだけの手動によるセッティングなので停電時でも止水可能で、少人数かつ短時間でセッティングを可能としている。そのため扉開口部周りのメンテナンスやクラック補修と製品設置までを同社が行い、浸水被害を防ぐための防水シートとベルトのセッティングは施工主が行う。止水性能については(一社)ベターリビングの建設技術審査証明がなされており、設置コストについては不陸調整や防水処理なども含めて100×200mmの扉で設計価格200万円を設定している。

同社では製品設置後のメンテナンスについて、年1回のメンテナンスと施工主へのセッティング訓練を実施するほか、3年保証のゴム類、10年保証の止水シートや取付ベルトなどの交換にも対応していくとしている。なお、今期の販売目標は20件、様々な販売戦略や用途展開を視みながら、ゆくゆくは工業会の立ち上げなども検討している。

2014年版 **建築仕上材ガイドブック** (改訂版)  
 日本建築仕上材工業会 編集  
 A4判 352頁 定価 3,850円(送料別)  
 ※注文はFAXで▶03-3866-3858